

### 前鬼・三重の滝登山道の倒木処理

◇実施日…2020年2月2日(日) 晴

◇参加者…山川治雄、岩本信行、梶野照雄。

3名

一 昨年の夏に三重の滝登山道の倒木を10数本切除したが、燃料切れで切り残した物もあった。その後の台風などで、新たな倒木がある事が判り、また五鬼助さんからも要請されていたので、倒木の切除に向かった。



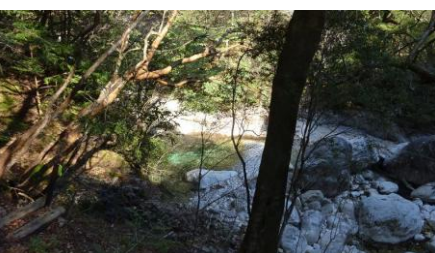
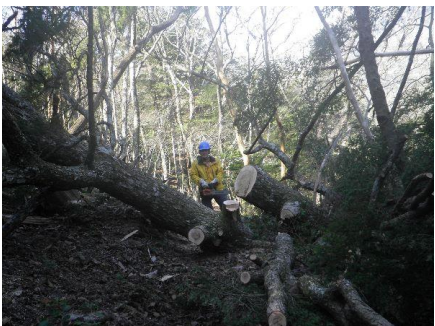
五鬼助さんに挨拶

関伽坂峠先の倒木

枝を落として空間を作る

9時過ぎに小仲坊を出発、関伽坂峠で一休み。その先の登山道を見ていた岩本さんが「大きいのが倒れてますよ」と声を上げた。

峠から20mほどのところで梅の大木が道を塞いでいた。直径は45cmほどで枝も多い。葉先はまだ緑色なので、一年以内に折れたと思われた。山川、梶野の2台のチェーンソーで枝を落として空間を広げる。岩本さんは切断した枝を登山道外に排除。幹の周りが広くなってから切断を開始、途中で2回休憩して何とか2ヶ所を切断した。切断した幹は重くて、大きく移動させることができず路傍に置いた。この倒木処理で1時間20分を要した。



幹を切断

出っ張りを切り落とす

垢離取場に到着

予想外の大木の処理で、持ってきた燃料の大半を使ってしまった、以後の倒木は枝先のみを切って迂回して通行できるようにした。

お昼前、やっと垢離取場に着く。先日雨が降ったので渡ることができるか心配していたが、流れは意外に少なく、1.5mほどの幅を渡るだけであった。石を手前に少し並べて濡れることなく渡ることができた。三重の滝までには正規ルートの他にもはつきりとした踏み跡があり、初めての人は間違う可能性があるように思えた。



垢離取場く三重の滝の倒木



本日の参加者



垢離取場から三重の滝までに大きな倒木が2本、小さなものは5本あり、それぞれ太さ15cm程度の部分を切り落とした。

12時半に三重の滝(千手の滝)に到着、上部の胎蔵界窟には行かずここで昼食を摂る。

昼食後、写真を撮ってから小仲坊に引き返す。帰り道でも燃料が  
続く限り小木を切り、山川さんのチェーンソーは関伽坂峠の手前で  
燃料切れとなった。

午後3時、小仲坊に到着、五鬼助さんにコーヒーを頂き休憩。

1月31日にテレビ東京の取材があり、早朝から午後10時までか  
かったとお話を聞く。この日の取材の放送は2月28日になるそ  
うだ。

また、エンジンがかからなくなったチェーンソー(刃長45cm)を  
寄贈いただけることになった。



帰り道での倒木切除



関伽坂峠



小仲坊に帰着

(記：梶野・写真：梶野、岩本)

### 行動タイム

小仲坊09:10→09:46関伽坂峠・倒木処理11:17→11:43垢離取場  
↓12:34三重の滝12:58→14:30関伽坂峠↓15:00小仲坊